

小国高等学校生徒と県議会議員との意見交換会開催状況

開催日時	令和7年9月10日（水）15時30分～16時30分
開催場所	山形県立小国高等学校（小国町）
出席議員	榎津博士、石川渉、阿部恭平、鈴木学、遠藤寛明
参加者	1～3年生 10名
意見交換の概要	<p>「地域活性化のために高校生ができること」について、2班に分かれてワークショップ形式で意見交換を行った。また、各班で取りまとめた内容を生徒が発表した。</p> <p>【主な意見等の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町を巻き込んだ活動をするとよいのではないか。 ・情報発信については、様々な活動に参加しながら色々な視点でターゲットに応じた発信方法を工夫するのがよいのではないか。 ・小国町は通過する人が多く立ち寄ってもらえないことを、ポジティブに捉えた取組みを考えるとよいのではないか。 ・小国町にはクマやマタギ文化など他の地域にはないものもあるので、それを生かした独特な発信方法など工夫できるのではないか。 ・小国高校には都道府県の枠を超えた国内留学生も在籍しているが、その内面を知る機会が少ない。日常生活を通して感じていることを、癒しの視点でSNSで発信することなどができるのではないか。 ・地域との関わりを増やすため、高校生など若い世代が活躍できる場所をつくるべきではないか。 ・少子高齢化で町のスーパーが閉店するなどの現状があるが、他地域で実践されている郵便局の買物サービスなどと連携すれば、高校生が高齢者をサポートすることもできるのではないか。 ・豪雪を利用した雪かきや「おぐにのつる細工」、地元の木材を使った小国らしい建物など、小国町の資源を生かした地域活性化の方法も考案できるのではないか。